

新中期経営計画

SZ-20

Phase III

ZEON

日本ゼオン株式会社

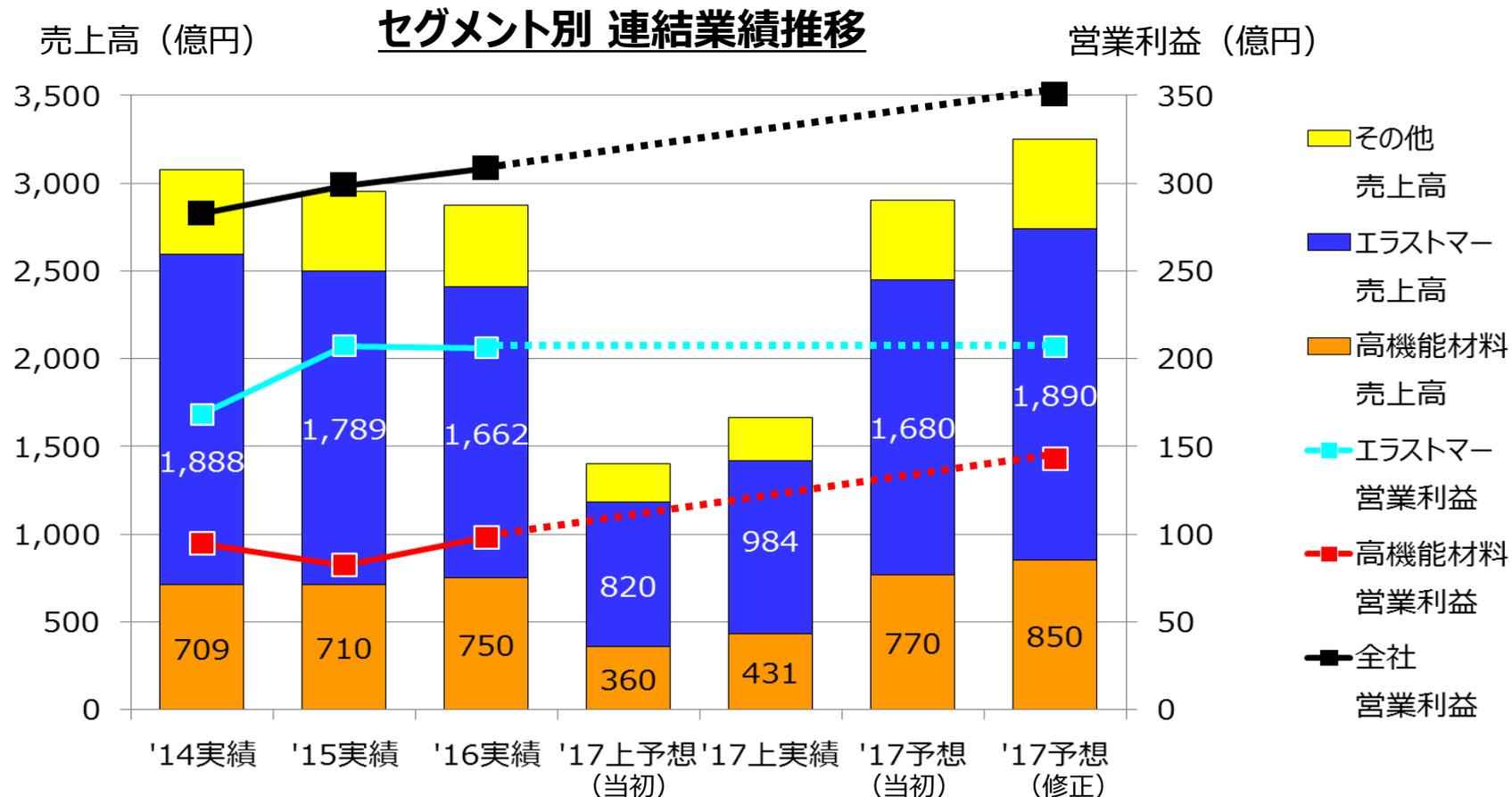
代表取締役社長 田中 公章

2017年10月31日

1. 2017年度2Q業績と経営環境

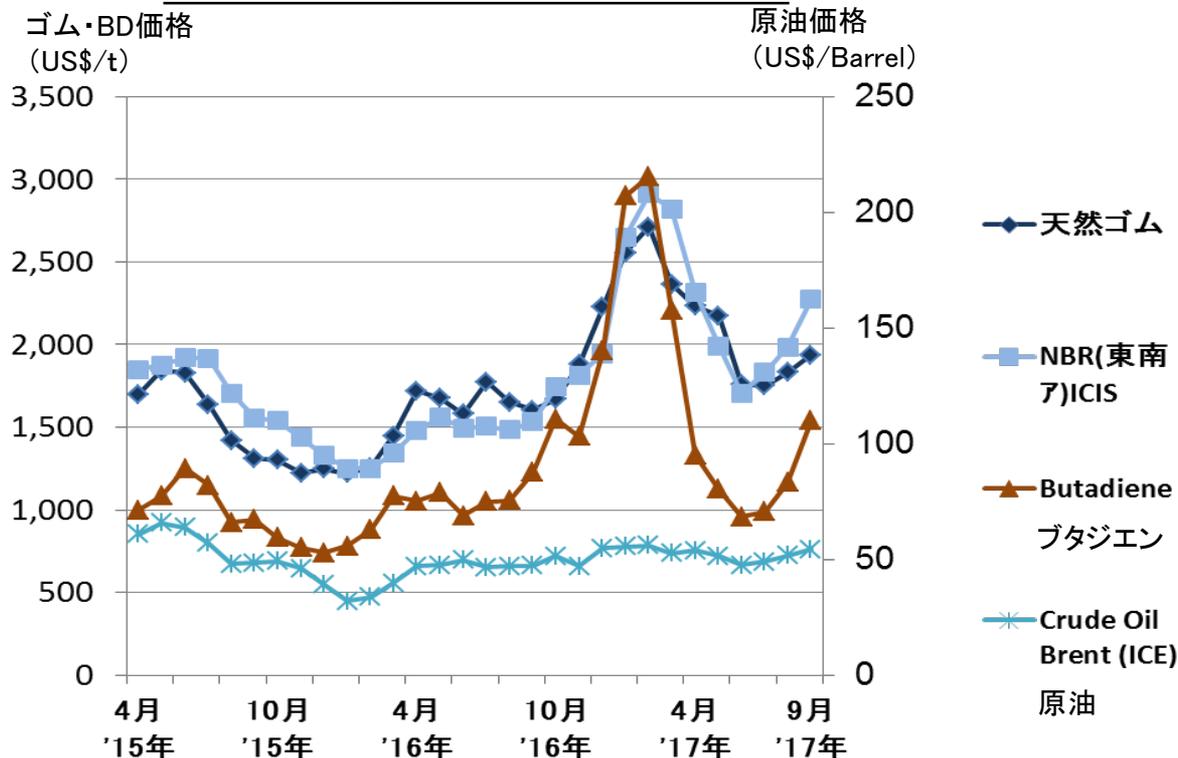
2. 事業トピックス

2017年度業績予想を上方修正 高機能材料が拡大



ブタジエンは前年度末の高騰から下落 合成ゴム市況も追随

ゴム市況と原油・ブタジエン市況



天然ゴム市況_シンガポール期近RSS#3 (出典: 合成ゴム月報)
 NBR市況_CFR東南アジア (出典: ICIS)

スポットBD_CFR東南アジア (出典: IHS)
 原油 Brent (ICE) (出典: IHS)

SZ-20 PhaseⅢ 全社戦略

成長

① オールゼオンの強みを組み合わせる『**深化**』と、壁を越えて外部と連携する『**探索**』によって、世界中に**ソリューション**を提供し、社会に貢献する。

② 『重点開発領域』での**新事業創出、新製品開発を加速**する。重点開発領域：地球環境、スマート化、健康と生活

風土

③ **多様な考え方を活かし、まずやってみて、前向きに行動することを尊重する組織風土を育成する。**

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

- ・成長市場へのグローバルな対応とコスト競争力強化によって、強みを発揮できる事業を更に深化させる。
- ・蓄積してきた市場からの信頼とお客様との関係を活かして、新たな可能性を探索し、成長に繋げる。

高機能材料事業

- ・重点的なリソース投入と外部との連携強化によって、市場成長と技術発展のスピードに対応して事業を拡大する。

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

- ・成長市場へのグローバルな対応とコスト競争力強化によって、強みを発揮できる事業を更に深化させる。
- ・蓄積してきた市場からの信頼とお客様との関係を活かして、新たな可能性を探索し、成長に繋げる。

高機能材料事業

- ・重点的なリソース投入と外部との連携強化によって、市場成長と技術発展のスピードに対応して事業を拡大する。

二拠点生産で最適生産化を進め事業を拡大

シンガポールで当社が得意とする油展製品の生産を開始。
世界で広がるSSBR市場の中でも省燃費や安全・安心といった高性能タイヤに
求められる高い技術の製品で顧客ニーズに応えます。

■ 生産戦略

- 徳山工場 : 新製品開発拠点として差別化製品を生産
- シンガポール工場 : 2017年8月に油添設備稼働開始、量産品を徳山から移管して生産開始



操業安全祈願式の様子

8月21日 Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd.

SSBR販売数量見通し

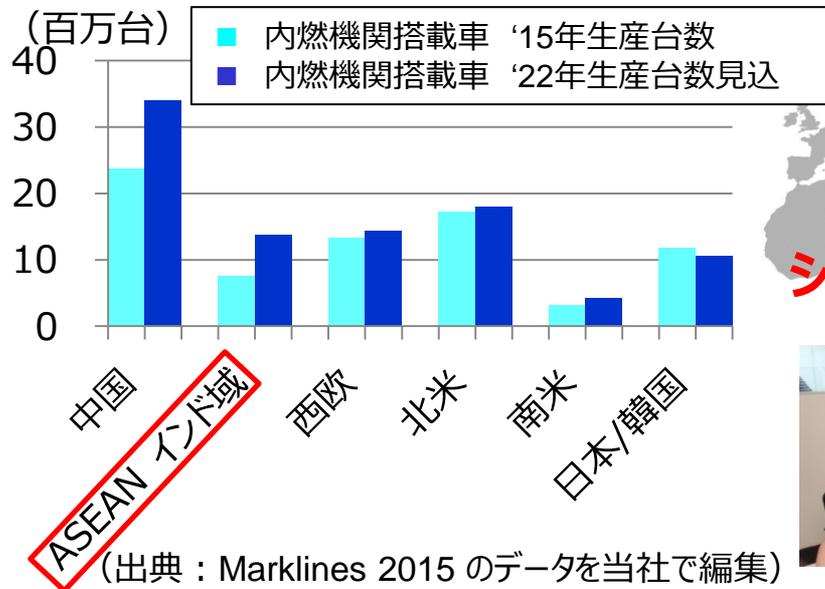


新興市場の顧客に対して、配合・加工におけるソリューションを提案

シンガポールから地域市場の特性に合った技術サービスを提供する

- 内燃機関搭載車の成長（特殊ゴム需要拡大）が見込まれるASEAN・インド域をカバー
- グローバルで5番目の技術サービス拠点として、新興市場でゼオンのプレゼンスを強化
- 2017年7月末に設備完成、8月末から運用開始

【地域別四輪車生産台数予測】



昨今高まっている臭気低減ニーズへ対応

- 水素を添加し、低臭気グレードを生産
- 衛生材料をはじめ、自動車用絶縁テープや低臭気・低VOCが求められる特殊粘着テープへの用途展開を進める



水添石油樹脂の販売計画(～2019)



部分水添樹脂を3としたときの、衛材用接着剤に対する品質レベル

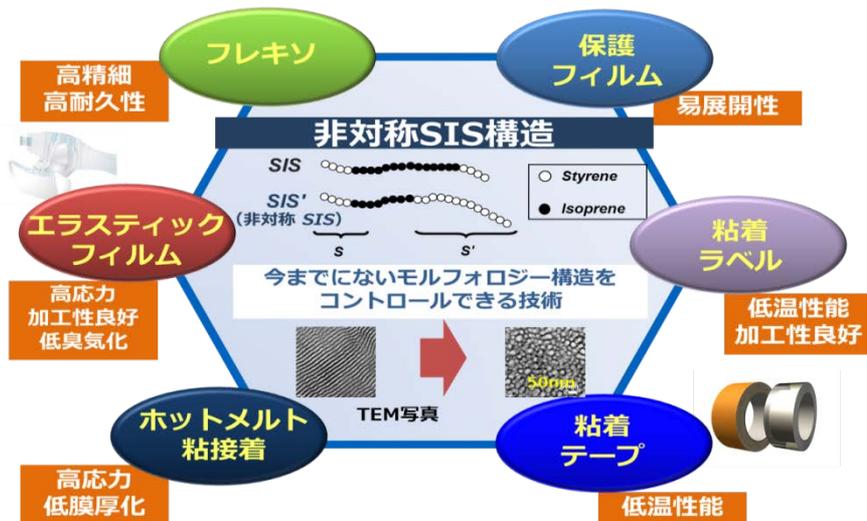


当社独自技術による水添化設備導入
(2017年9月稼働開始 水島工場)

非対称SISの更なる市場展開によって、事業規模拡大を目指す

■ 非対称SISの特徴

スチレン-イソプレン-スチレンの両末端に位置するスチレンブロックを意図的に極端な非対称構造で偏りをもたせ、同時に低スチレン比率で両末端のスチレンが対称なスチレンブロックを混在させることにより、高スチレン由来の高強度を維持しながら高い伸縮性を両立。これにより従来品を使用したフィルムと比較して最大50%の薄膜化が実現可能に。



メキシコ工場第1期が完工 グローバル生産体制で、拡大する市場に対応

P S C 生産体制

- ◆ 日本 2,000t
- ◆ 中国 2,400t
- ◆ メキシコ 1期 : 1,200t (2017年6月稼働開始)
2期 : 1,200t (2020年以降稼働予定)

P S C 販売計画(グローバル)

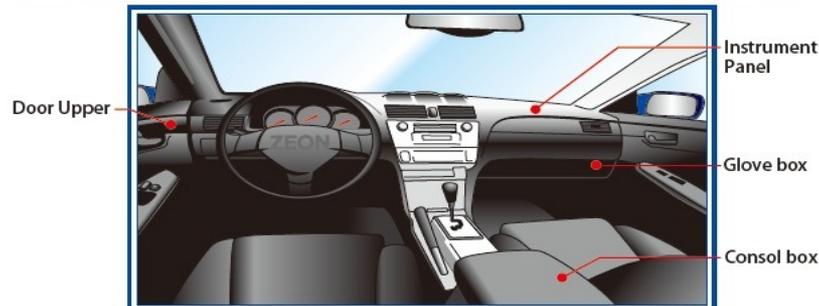
* 2017年の販売数量を
100とした場合の指数



パウダースラッシュコンパウンド (PSC)

- ・PVCを原料とするスラッシュ成型用コンパウンド
- ・意匠性、成形加工性、低温特性に優れる

PSC用途：内装材表皮



メキシコ工場開所式の様子 6月6日

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

- ・成長市場へのグローバルな対応とコスト競争力強化によって、強みを発揮できる事業を更に深化させる。
- ・蓄積してきた市場からの信頼とお客様との関係を活かして、新たな可能性を探索し、成長に繋げる。

高機能材料事業

- ・重点的なリソース投入と外部との連携強化によって、市場成長と技術発展のスピードに対応して事業を拡大する。

米シリコンバレーに高機能材料事業の拠点進出

IT産業の集積地と言われるシリコンバレーへの進出により、
市場のニーズによりスピーディーに対応する

■ 事業分野

- ① 高機能樹脂（シクロオレフィンポリマー）
- ② 高機能部材（光学フィルム）
- ③ 電池材料（リチウムイオン二次電池バインダー）
- ④ 電子材料（絶縁材料、レジスト、エッチングガス）

■ マーケティングを強化し市場のニーズを把握する

■ 2017年10月開所、2018年1月営業開始予定



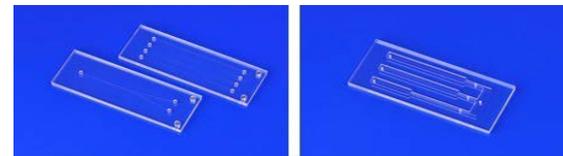
医療・バイオテクノロジー分野へのCOPの展開

■ マイクロ流路チップなど試作受託サービスを開始

基板の成形から流路切削加工、接合まで
ワンストップで受託することで、
低コスト・短納期・小ロットでのサンプル製作を実現。
⇒「コトづくり」への挑戦



マイクロ流路チップ



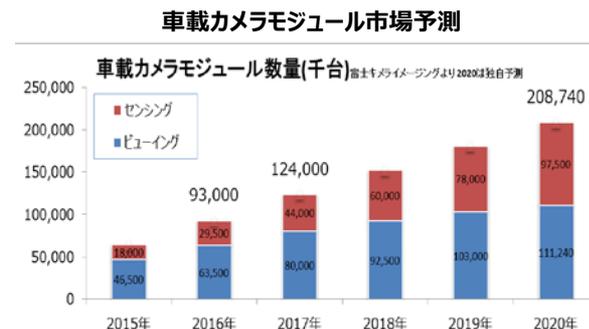
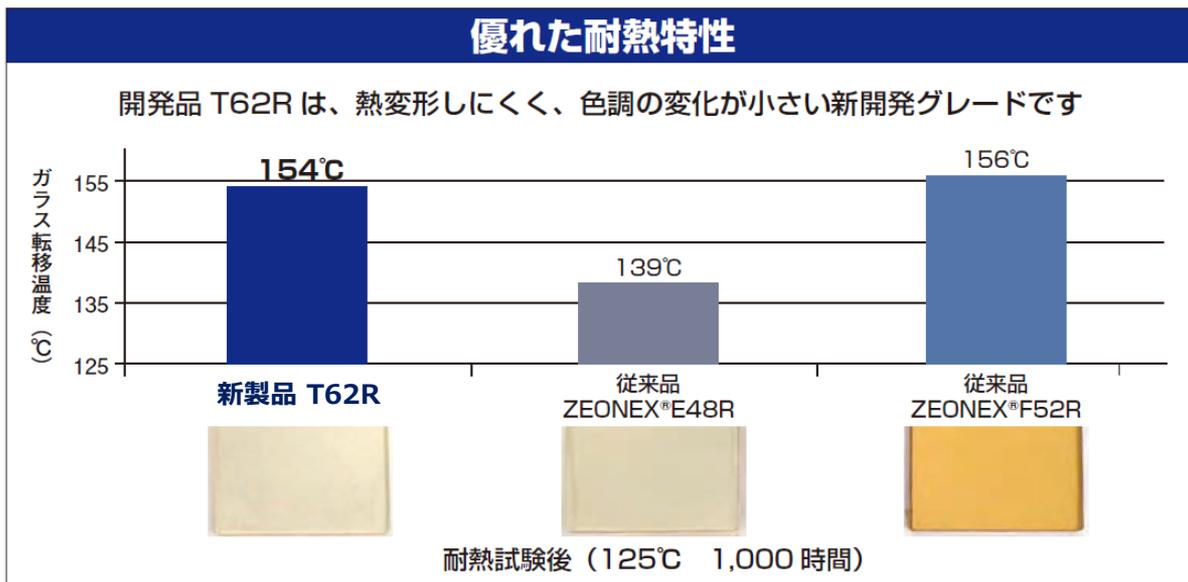
試作受託サービスのWEBサイト開設



車載センシングカメラ市場での販売拡大を目指す

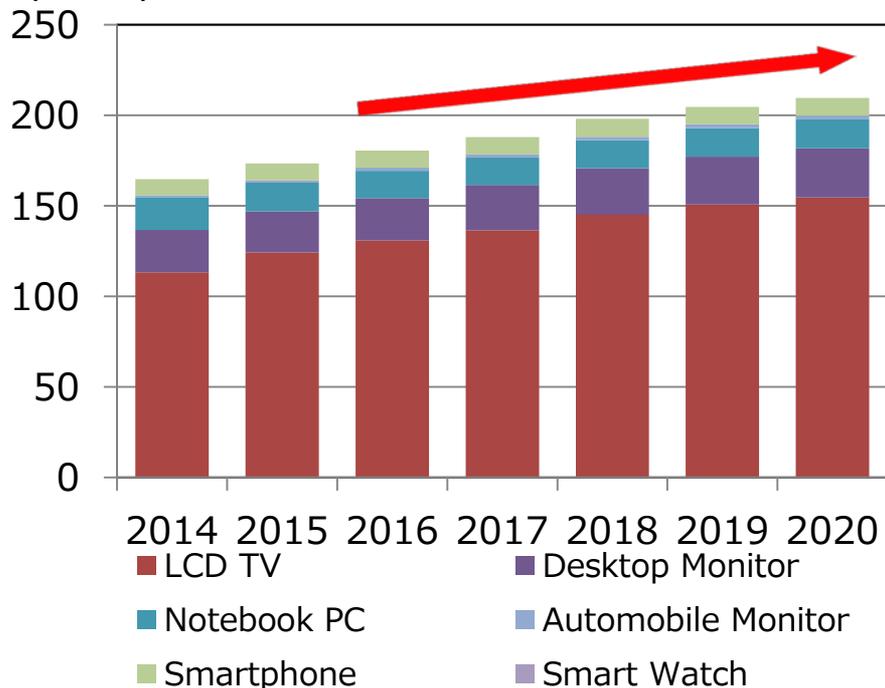
■ 高耐熱光学レンズ用新製品 “ZEONEX®T62R” を上市

T62Rは当社従来品と比べ、高温環境下で変形しにくく改良した新グレード



テレビの大型化、高精細化による需要増に対応

パネル面積
(百万m²) **液晶パネル出荷動向 (面積ベース)**



液晶パネル市場は面積ベースで拡大継続

データ出典: 30 t h, 31th IHS Display Japan Forum / January 2016(© 2016 IHS)

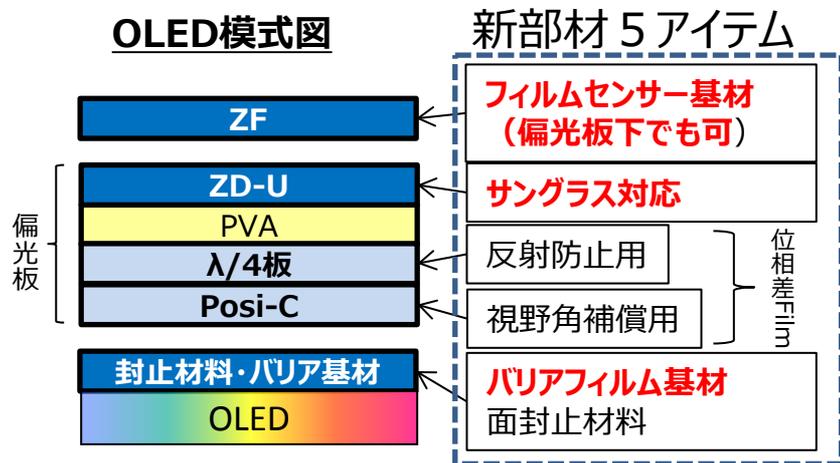
(百万m²) **液晶テレビ用位相差フィルム生産能力**



※ (株) オプテス 氷見事業所における生産能力 (公称値)

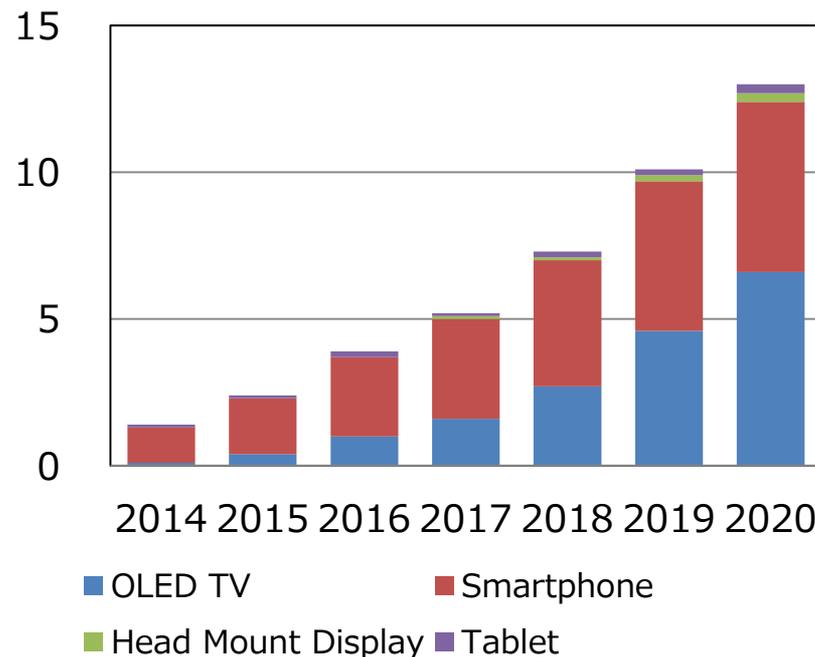
新材の品揃えで、OLED市場への参入

- 今後成長が期待されるOLED市場に対し、新規位相差フィルム（ZA,液晶塗布）の開発を軸に、タッチセンサー用基材やサングラス対応の拡販とフォードブル対応を進める。



3部材（フィルムセンサー、サングラス対応、バリア基材）は本年度採用

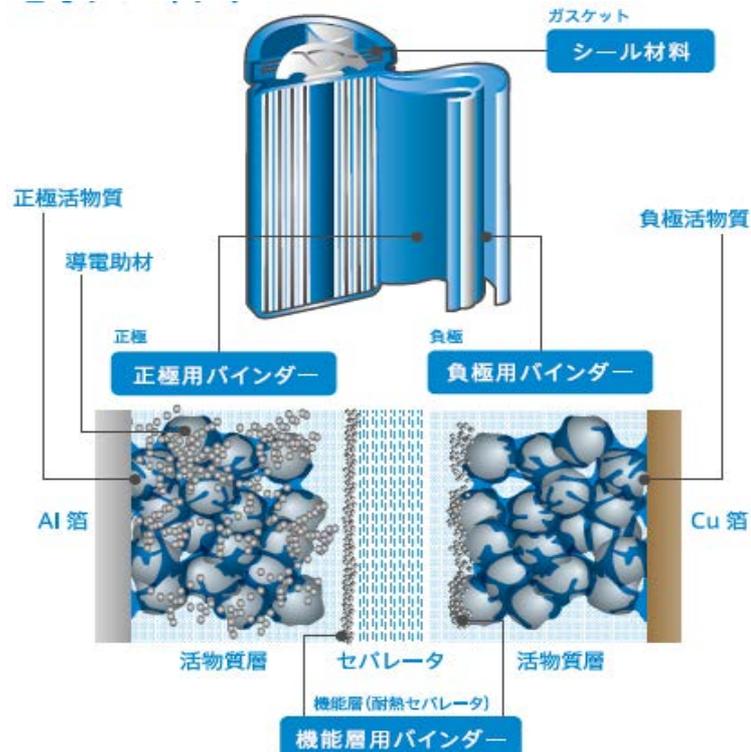
出荷面積 (百万m²) **有機ELディスプレイ出荷面積**



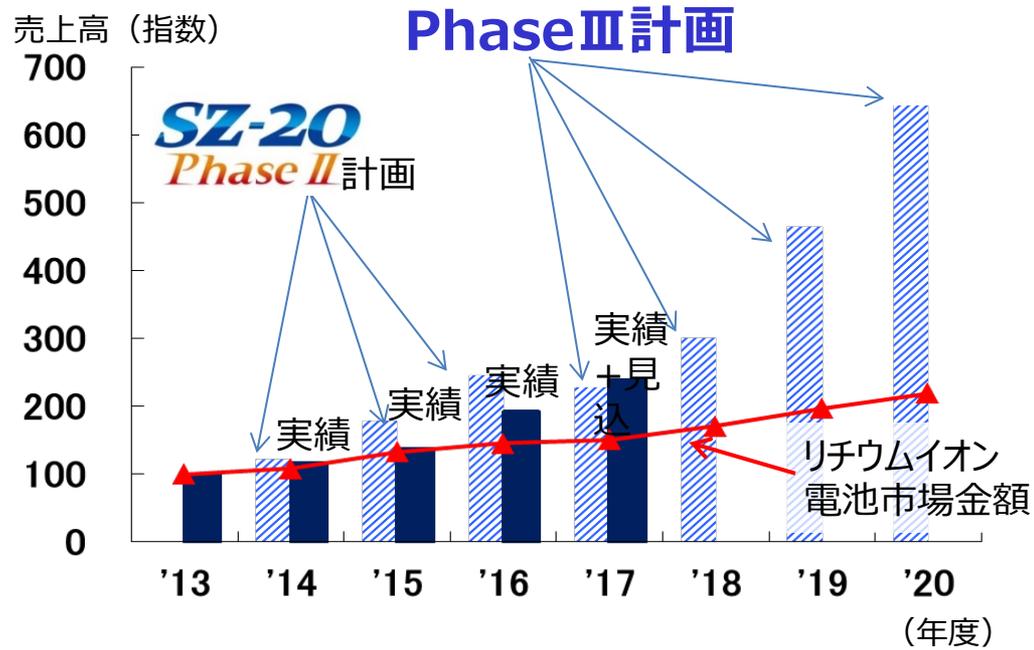
(出典 : 2016.07 IHS Display Japan Forum)

エネルギー材料事業は、製品群を拡大させ事業拡大

ゼオンのリチウムイオン電池向け製品



ゼオンの電池材料売上高



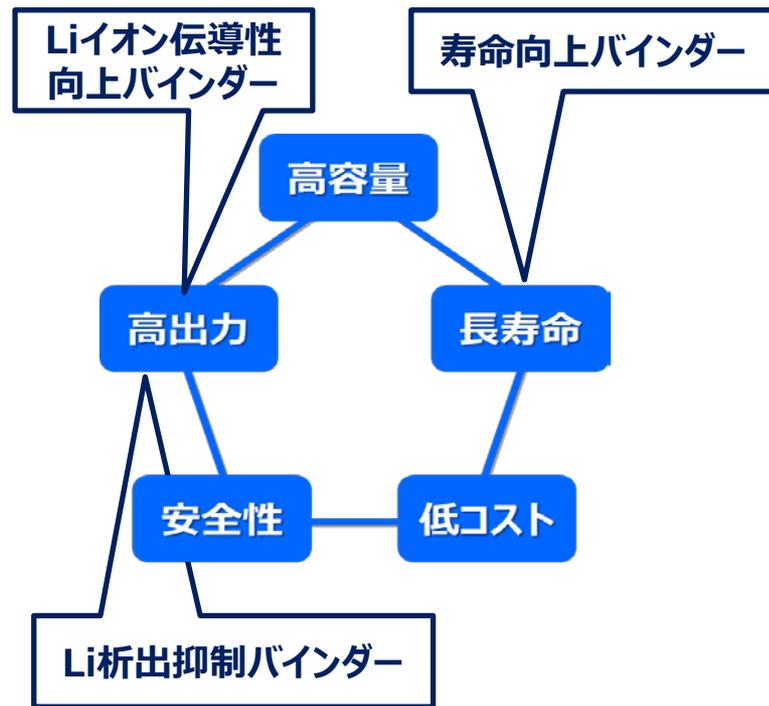
(指数: '13年度を100とした数字)
(市場データ出典: B3社レポート'16年12月)

車載向けに着実に採用を拡大

自動車メーカー各社の電動化方針



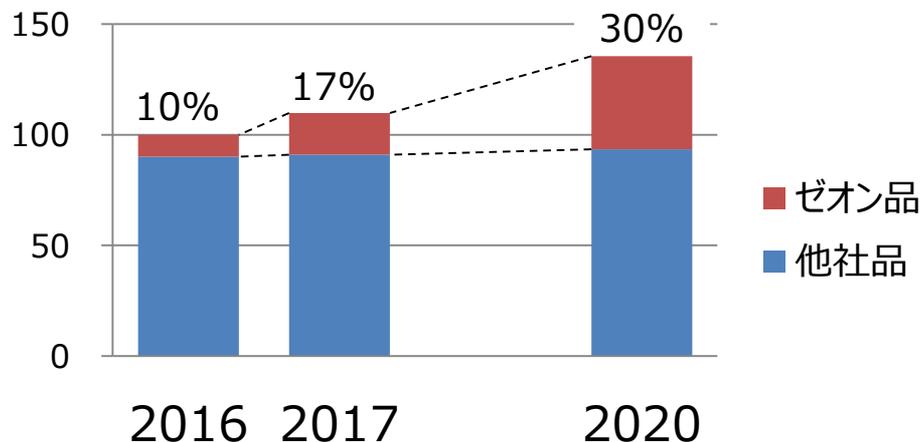
セル5大特性とゼオンの提案



光センサー型FFRデバイスの採用が拡大

- 光ファイバー型センサー搭載のFFRデバイスの血圧測定値の信頼度で高評価
- 2020年度での国内市場シェア30%達成を目指す

FFR国内市場の推移および当社シェア



左：血管内圧測定用センサ付ガイドワイヤ「OptoWire®」
 右：観血式血管内圧測定用モニター「OptoMonitor®」

2016年版 カテーテル&チューブ、IVR製品市場の中期予想と関連製品の徹底分析(矢野経済研究所) および当社データをもとにグラフ作成 (2016年を100とした指数)

<ZEONANO® SG101/ゴム複合材料を用いた用途>

日本ゼオン・サンアロー・産総研CNT複合材料研究拠点での研究開発の成果
(2017年6月に産総研がニュースリリース発信済)

高温でも形状を維持できる強靱で
安全性の高いOリングを開発

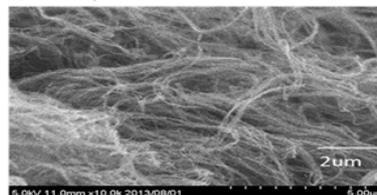


420℃、3時間加熱(窒素ガス雰囲気)



左(開発品)、右(市販品)

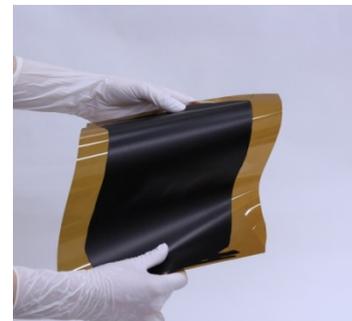
今回開発したOリングと市販品の比較(左)と
高温加熱後のSGCNTの電子顕微鏡観察像(右)



窒素雰囲気の中で高温加熱し、フッ素ゴムを
昇華させた後のSGCNT

自動車・化学プラントなど、高温・高圧耐性が
要求される過酷環境下への用途に期待

カーボンナノチューブを用いた塗料で
電磁波遮蔽を実現



今回開発したSGCNT系水性塗料を用いて
ポリイミドシートへ形成した塗布膜

自動車用ワイヤーハーネスやロボットなど、
多様な分野での電磁波遮蔽対策への
活用を期待



革新・改善活動を継続

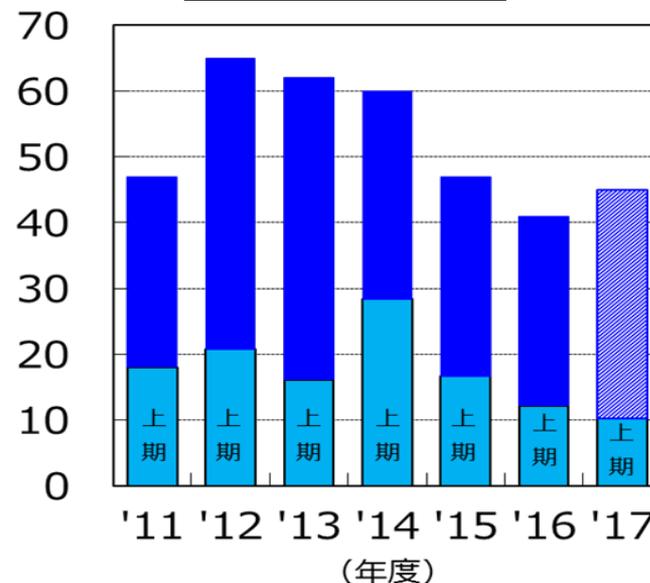
※生産革新：
ダイセル式生産革新手法

テーマ化



- 【ZΣ活動】**
- ★コストダウンテーマ
 - ★サークルテーマ（小集団活動）
 - ★コスト意識醸成・教育

(億円) **ZΣ活動 効果額**



2020年のありたい姿

『化学の力で未来を今日にするZEON』

-わたしたちゼオンは、一人ひとりの成長を通じて、
お客様の夢と快適な社会の実現に貢献し続けます-

2020年度連結売上高 5,000億円以上

スピード

対話

社会貢献

— 仲間との相互信頼 —

以上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

ZEON

日本ゼオン株式会社 CSR統括部門 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501